

NPO 法人食品保健科学情報交流協議会
平成 26 年度食科協公開講演会の開催について

NPO 法人食品保健科学情報交流協議会
(NPO 法人食科協) 理事長 関澤 純
後援 一般財団法人日本科学技術連盟

1 テーマ : HACCPを中心とする国際規格について

(CODEX, WTO, SPS協定とTPP等への影響について)

2 講演会の目的 : 国内食品製造業におけるHACCPについては、先に厚生労働省から「食品事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針(ガイドライン)」が改正通知されたところである。これに基づく食品製造業へのHACCPの導入推進について各自治体において条例等改正の作業がされているところです。

HACCPシステムが食品の安全管理において有効であるところから、食科協としても食品事業者のHACCP導入を支援するための事業を推進してきました。

このような状況を踏まえ、去る6月には「国内食品事業者における“HACCPによる工程管理”の普及について」をテーマに会員研修会を実施しました。この度、HACCPはさらに要求度が高まるものと考え講演会を開催することとした。今回は、CODEXにおけるHACCPの基本を再確認するとともに、会員からの要望が多い食の安全に関する国際動向をテーマとするものです。

HACCPが要求される国際的な動向とその背景と内容について確認し、理解するとともに、講演会を通じて、食品等事業者等のHACCPへの取組に資することを目的に開催するものです。

3 開催日時 平成 26 年 11 月 7 日(金) 13:00~16:50

4 開催場所 一般財団法人日本科学技術連盟 本部 1 号館 3 階講堂

5 講演会の内容

開会挨拶 NPO 法人食科協 理事長 関澤 純 (13:00~13:10)

後援の挨拶 一般財団法人日本科学技術連盟 代表

(1) 講演会

座長 NPO 法人食科協 森田邦雄常任理事

基調講演 HACCPを中心とする国際規格について (13:15~14:15)

~ CODEXの提唱するHACCPを中心に ~

講師 山口大学 豊福肇教授

講演 I 米国食品安全強化法(FSMA)について(仮題) (14:15~15:00)

~ 現状と今後の動向 ~

講師 寺原事務所代表者 寺原正紘氏

講演 II 食品の輸出入とHACCPについて (15:10~15:40)

講師 厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課 松井保喜輸出食品安全対策官

講演 Ⅲ 食料産業における国際標準戦略について (15:40~16:10)

～食品安全に関する日本版規格・認証スキームの方向について～

講師 農林水産省食料産業局企画課食品企業行動室 田邊浩之課長補佐

(2) パネルディスカッション (16:20~16:50)

座長 NPO 法人食品保健科学情報交流協議会 森田邦雄常任理事

パネリスト 講演者 4名

6 定員 100名とし、なお、会員には定員なしとします。

7 会費 食科協会員並びに学生及び食品衛生監視員等 2,000円

賛助会員 無料(会場都合により2名様まで)

非会員 4,000円

(注) 食科協会員には入会申込み手続き中の方も含めています。

8 懇親会 (講演会終了後、講演者を囲んで) 会費 4,000円